

第40回医療公開講座

『当院の胃カメラ・大腸カメラについて』



講師：新札幌豊和会病院

消化器内視鏡室長 松原 悠 医師



胃カメラは、食道、胃、十二指腸を直接観察するため、食道癌・胃癌の早期発見や逆流性食道炎、胃潰瘍・十二指腸潰瘍、ピロリ菌感染の診断が可能な検査です。また腹痛、貧血などの原因を調べるため、食道・胃・十二指腸に発生した潰瘍、炎症、ポリープ、腫瘍等を診断するために実施します。

大腸カメラは、便潜血検査で異常を指摘された方、腹部症状のある方が主に対象となる検査です。大腸の病気は、大腸癌（近年、日本で増加傾向）、大腸ポリープ（大腸癌になるのもある）、腸炎（感染によるもの、潰瘍性大腸炎、Crohn病、その他）、大腸からの出血などが挙げられます。大腸内視鏡をおこなうことで、それらの病気の正確な診断・重症度の判断、治療がおこなえます。今回は当院で行なう、内視鏡検査について、専門医の松原医師が解説します。



◆日時：平成30年7月26日（木曜日）

15:30～16:30

◆会場：新札幌豊和会病院 地下1階 職員会議室

札幌市厚別区大谷地東2丁目5-12

◆参加費：無料

＜お問い合わせ先＞

新札幌豊和会病院（広報課）

TEL:011-893-7000

札幌市厚別区大谷地東2丁目5番12号

